

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	枕崎市立桜山小学校	児童生徒数	128人
-----	-----------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

①振り返りのキーワード

振り返りのキーワード


①～が分かった、できた。
【達成感】

②もっと～について知りたい（調べたい、やってみたい）。
【探究心】

③これまで学習した〇〇と～。次の学習では～。
【学習のつながり】

④最初は～だったけれど、最後は～。
【自分の変化】

⑤友達の振り返りと比べると～思った。
【いろいろな考え】



②期待する振り返りを設定した授業設計

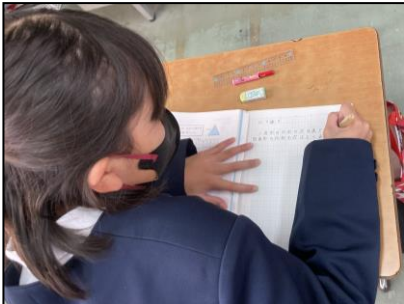
【予想される振り返り】

- ① 三角形の面積は、長方形や平行四辺形に変えれば求めることができた。
- ② 平行四辺形は公式で求められたから、次の学習では三角形の公式を作ってみよう。
- ③ 他の図形（台形やひし形）も同じように移動してこれまでに学習した図形にすれば求められそうだな。
- ④ 最初はできるか心配だったが、友達のを聞いて面積を求めることができた。
- ⑤ 友達のを見たり、分からないところを質問したりすることで、自分の考えをより深めることができた。

指導案にも明記。教師が児童に期待する振り返りを設定し、授業における具体的な手立てを含めて授業を設計する。

振り返りの視点+具体的な表現につながるキーワードを示すことで、児童の振り返りの充実につながった。

③振り返りを行う児童の様子



振り返りをとおして学びを深めたり、学びに向かう力が付いてきたりしている。

④振り返りをとおして学びを深めた記述の例

振り返り

・ y が決まると、た数 $\times x$ ではなく、 y が $x \times$ 決まると、た数でも表すことができた。

・ 正多角形も表すことができた。

<振り返り>

最初は、教科書と大きさが合わなくて、なやんでたけど、さんの考えをまねしたらかんたんにできた。

取組についての概要（成果）

- 1 4月、本校の研究テーマの視点の一つとして、「振り返り」を設定。
- 2 6月19日（月）第2学年算数科研究授業での検証Ⅰ「振り返りのさせ方についての検討」
 - (1) 学習過程を工夫することで、振り返りの時間を確保できるのではないかと考えた。
 - ◎ 発問の工夫やワークシートの活用により振り返りの時間を十分確保できた。
 - (2) 「分かったこと」「できたこと」という振り返りの視点を示すことで、児童が具体的に振り返ることができるのではないかと考えた。
 - △ これまでの取組の積み重ねが不十分で、具体的に文章で表すことができなかった。
- 3 8月1日（火）職員研修での提案

本校の課題として、「振り返りを具体的に文章で表すことができない」ことが挙げられた。原因は、「児童が振り返りで何をどのように書けばよいのか理解できていない」ことや、「教師も授業が焦点化できておらず、児童に期待する振り返りのイメージをもって授業が行えていない」ことではないかと考えた。

そこで、「振り返りのキーワード」と「期待する振り返りを設定した授業設計」についての提案を行い、2学期から共通実践を行った。
- 4 9月25日（月）第5学年算数科研究授業での検証Ⅱ「共通実践の有効性についての検討」
 - (1) 「振り返りのキーワード」を活用することで、児童が振り返りを具体的に文章で記述することができていたか。
 - ◎ 「振り返りのキーワード」に基づいて、具体的に振り返ることができた。
 - (2) 期待する振り返りを教師が事前に考え、授業を設計することで、本時で振り返りの充実が図られたか。
 - ◎ 期待する振り返りをもとに授業を設計することで、児童への手立てが明確になり、よりよい授業づくりを行うことができた。